

RCNP 研究会「クラスターガス状態探索のための研究戦略会議」

平成23年9月7日(水)、8日(木)

大阪大学核物理研究センター4階 講義室

9月7日(水)

- | | | |
|-------------|--|-----------------------------------|
| 11:00-11:10 | はじめに | 山田 泰一 (関東学院大学工学部) |
| 11:10-11:35 | ^{12}C 周辺核におけるガス状態とリニアチェーン状態 | 須原 唯広 (京都大学 基礎物理学研究所) |
| 11:35-12:05 | 軽い中性子過剰核の準束縛クラスター状態 | 伊藤 誠 (関西大学 システム理工学部) |
| 12:05-12:35 | SAMURAI を用いたクラスター状態の物理 | 大津 秀暁 (理化学研究所 仁科加速器研究センター) |
| 12:35-14:00 | 昼食 | |
| 14:00-14:30 | クラスターガス状態とモノポール励起 | 山田 泰一 (関東学院大学工学部) |
| 14:30-14:55 | TBA | 川畑 貴裕 (京都大学大学院 理学研究科) |
| 14:55-15:25 | 崩壊 α 粒子測定による α クラスター凝縮状態の探索 | 伊藤 正俊 (東北大学 サイクロトロノラジオアイソトープセンター) |
| 15:25-15:55 | ^{24}Mg と Island of Inversion でのアイソスカラー単極子遷移について | 木村 真明 (北海道大学 創成科学共同研究機構) |
| 15:55-16:20 | ^{24}Mg における ^{16}O コア近傍のガスの α クラスター状態、および ^{16}O における 4α チェインの探索 | 市川 隆敏 (京都大学 基礎物理学研究所) |
| 16:20-16:50 | 休憩 | |
| 16:50-17:20 | 2 中性子ハロー核のクーロン分解から見る部分系の相関 | 菊地 右馬 (大阪大学 核物理研究センター) |
| 17:20-17:50 | 分解反応で探るダイニュートロン相関 | 中村 隆司 (東京工業大学大学院 理工学研究科) |
| 17:50-18:15 | ダイニュートロン凝縮波動関数を用いた中性子過剰核中のダイニュートロン相関の研究 | 小林 史治 (京都大学大学院 理学研究科) |
| 18:30-21:00 | 懇親会 | |

9月8日(木)

- 9:30-10:00 少数体手法にクラスター状態の記述
堀内 渉 (理化学研究所 仁科加速器研究センター)
- 10:00-10:25 Skyrme力を用いた多スレーター行列式による軽い核の励起構造計算
福岡 佑太 (筑波大学大学院 数理物質科学研究科)
- 10:25-10:55 He, Li 同位体におけるテンソル力の役割
明 孝之 (大阪工業大学 工学部)
- 10:55-11:20 休憩
- 11:20-11:45 ボーズ凝縮の超流動と ^{16}O の元素合成
大久保 茂男 (高知県立大学 生活科学部)
- 11:45-12:10 宇宙の α p 過程における α クラスター構造
久保野 茂 (東京大学 原子核科学研究センター)
- 12:10-12:40 核物質の圧縮膨張とクラスター
小野 章 (東北大学 理学研究科)
- 12:40-14:10 昼食
- 14:10-14:35 ^9Li における 3t 状態 牟田 啓太郎 (京都大学大学院 理学研究科)
- 14:35-15:00 ^9Be 原子核構造関数におけるクラスター効果
齊藤 晃一 (東京理科大学 理工学部)
- 15:00-15:25 Λ 粒子の糊効果と p 殻クラスター核回転帯の慣性モーメント
小池 武志 (東北大学大学院 理学研究科)
- 15:25-15:50 休憩
- 15:50-16:20 Symplectic 模型による ^{12}C , ^{16}O のアルファクラスター構造の研究
吉田 亨 (東京大学 原子核科学研究センター)
- 16:20-16:50 直接反応を用いたクラスターガス状態探索
下浦 享 (東京大学 原子核学研究センター)
- 16:50-17:20 直交条件模型、複素スケーリング法を用いた ^{16}O 共鳴状態の研究
船木 靖郎 (理化学研究所 仁科加速器研究センター)
- 17:20-17:50 TBA
秋宗 秀俊 (甲南大学 理工学部)
- 17:50-18:30 議論